

1. 科目名 (単位数)	障害者福祉論 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2101 SNMP2301 SCMP2101 SBMP2301 PSMP2401
2. 授業担当教員	西村 明子		
4. 授業形態	講義・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>障害者を取り巻く福祉制度・政策は、日々、劇的な変化を遂げている。そして、障害者のニーズも複雑・多様化している。実践現場では、これに適切に対処することができるソーシャルワーカーが求められている。本講義においては、激しく移り変わる障害福祉制度や情勢、さらには障害者の実情について学び、ソーシャルワーカーが主体的に問題解決に取り組むことができるように知識を身につけていく。</p> <p>また、ソーシャルワーカーは多面的な視点を必要とすることから、新聞記事等、資料も用いて障害者問題のみならず老人・貧困等と、さまざまな課題を取り上げ、福祉問題について共に考えていく。</p> <p>そして、障害者福祉論は、社会福祉士国家試験の『障害者福祉』に位置する科目となる。同国家試験の合格を目指すためには、『障害者福祉』が得点源となるような受験対策が必要となる。そのため、本講義においては、過去の国家試験を分析・検討し、それに沿った内容も講義する。</p>		
8. 学習目標	<p>障害者福祉論が終了した時点で、具体的に以下の点を理解し、説明できるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 障害概念と特性 2) 障害者福祉の理念 3) 障害者福祉の歴史 4) 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 5) 障害者に対する法制度 6) 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 7) 障害者と家族等に対する支援の実例 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内で提示する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 『最新・社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉』中央法規 2021</p> <p>参考図書等については随時提示する。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準 7つの学習目標を理解することが出来たか。</p> <p>○評定の方法 ①中間試験 30% ②期末試験 50% ③平常点 (授業への積極的参加度及びレポート) 20%</p> <p>尚、本学の規定に定められている3/4以上の出席が確認できない場合には単位の修得は認めない。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>本講義においては、学生の理解度を上げるため、さまざまな箇所において、学生の意見や感想、さらにはこれまでに学んだ福祉の知識について、質問していくという形式で講義を進めていく。その際、学生からの積極的な参加を望んでいるので、その内容が優れていると判断した場合には、大いに講義内評価として加味していく。授業の進捗状況・理解度にあわせ、授業内容の順番等を変更する場合もある。</p> <p>また、学生自身により講義の質を高めるため、以下の点に注意して受講しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講する。 ・理解できないことは、講義外において積極的に質問する。 ・明らかに態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。それでも改善が見られない場合には、たとえ全出席であってもF評価とする。 ・講義中、私語、居眠りは絶対にしてはならない。 		
13. オフィスアワー	初回授業で連絡します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 障害概念と特性(1) 障害者の定義と特性	事前学習	教科書を準備し、シラバスに目を通してから講義へ臨むこと。
		事後学習	配付資料の復習。
第2回	障害概念と特性(2) 国際生活機能分類 (ICF) と障害の社会モデル	事前学習	第1章第2節を熟読し、ICF と社会モデルを理解する。
		事後学習	障害概念について、配布資料の復習。
第3回	障害者福祉の理念 障害観の変遷・障害者福祉の理念	事前学習	第2章第1-2節を熟読し、障害者福祉の理念を理解する。
		事後学習	障害者福祉の理念について配布資料の復習。
第4回	障害者福祉の歴史 障害者権利条約批准までの変遷	事前学習	第3章第1-4節を熟読し、障害者権利条約批准までの変遷を理解する。
		事後学習	障害者権利条約について配布資料の復習。

第5回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題(1) 障害者の生活実態	事前学習	第4章第1節を熟読し、障害者の生活実態を理解する。
		事後学習	障害者の生活実態について配布資料の復習。
第6回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題(2) 障害者と家族	事前学習	第4章第2節を熟読し、障害者と家族のニーズについて理解する。
		事後学習	障害者と家族のニーズについて配布資料の復習。
第7回	障害者に対する法制度(1) 身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法	事前学習	第5章第1-4節を熟読し、身体・知的・精神に関する法制度を理解する。
		事後学習	身体・知的・精神の法制度の概要について配布資料の復習。
第8回	障害者に対する法制度(2) 児童福祉法・発達障害者支援法	事前学習	第5章第5-6節を熟読し、児童福祉法・発達障害者支援法に関する法制度を理解する。
		事後学習	児童福祉法・発達障害者支援法の法制度について配布資料の復習。
第9回	第1回から第8回までのまとめ・中間試験	事前学習	第1回から第8回までを復習する。
		事後学習	中間試験で、できなかったところを復習。
第10回	障害者に対する法制度(3) 障害者総合支援法①	事前学習	第5章第7節1-2を熟読し、障害者総合支援法の概要を理解する。
		事後学習	障害者総合支援法の概要について、配布資料の復習。
第11回	障害者に対する法制度(4) 障害者総合支援法②	事前学習	第5章第7節3.4.5.6.7を熟読し、障害者総合支援法の福祉サービスについて理解する。
		事後学習	障害者総合支援法の福祉サービスについて配布資料の復習。
第12回	障害者に対する法制度(5) 障害者虐待防止法・障害者差別解消法	事前学習	第5章第8-9節を熟読し、障害者虐待防止法・障害者差別解消法の概要を理解する。
		事後学習	障害者虐待防止法・障害者差別解消法の概要について配布資料の復習。
第13回	障害者に対する法制度(6) バリアフリー法・障害者雇用促進法	事前学習	第5章第10-11節を熟読し、バリアフリー法・障害者雇用促進法の概要を理解する。
		事後学習	バリアフリー法・障害者雇用促進法の概要について配布資料の復習。
第14回	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 組織・機関の役割と関連する専門職の役割	事前学習	第6章第1-2節を熟読し、障害者の家族支援について理解する。
		事後学習	障害者の家族支援について、配布資料の復習。
第15回	障害者と家族等に対する支援の実際 障害領域におけるソーシャルワーカーの役割 まとめ	事前学習	教科書・配布したプリントを復習し、解らないところを整理しておく。
		事後学習	期末試験に向けて復習。
期末試験			
15. 実務経験を有する 教員特記事項	知的障害者施設においての実務経験及び行政機関において障害程度区分認定審査会委員としての実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		